

軌道旅客運賃の改定について

阪堺電気軌道株式会社（本社：大阪市住吉区／社長：藤井 哲）では、2025年4月1日（火）より軌道旅客運賃を改定するための届出を、本日、近畿運輸局長宛てに行いました。

改定理由および改定内容は次のとおりです。

ご利用の皆さまにはご負担をお掛けいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

1. 改定の内容

(1) 改定理由

当社の軌道事業を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う沿線の生産年齢人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした在宅勤務等の働き方の多様化やネットショッピングの普及等による人流の劇的な変化に伴い、今後の輸送需要はコロナ禍以前の水準には戻らない状況で推移していくものと見込んでおります。

当社は、このような事業環境の変化を受けて、ご利用状況に見合ったダイヤ改正の実施や、貸切電車及び企画乗車券の価格見直し等の営業施策を実施することで軌道事業収支の改善を図るとともに、安全輸送を前提とした省力化および営業費用全体の費用の抑制に努めてまいりましたが、電車動力費等の高騰をはじめとした当社の軌道事業の存続に必要不可欠な、費用の上昇に歯止めがかからない厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況下であっても、お客さまに安全安心を感じていただける輸送サービスの提供に向けて、老朽化した車両や施設・設備の更新、IC関連機器の更新および停留場施設の更新等の安全確保やサービス改善に資する設備を適切に更新していく必要があります。また、今後も様々なお客さまのニーズに応えた利用しやすい交通環境の整備に向けて、旅客サービス設備等の改善に努めていく必要があります。

これらの状況を踏まえ、今後も公共交通機関としての責任を果たしていくと共に安全・安心な輸送サービスを提供するために、運賃変更の届出をおこなったものです。

(2) 改定の概要

① 改定予定日

2025年4月1日（火）

② 内容

○ 普通運賃(大人)

国から2020年9月14日付けで認可されている上限運賃（250円）の範囲内での引き上げになります。

※ 全区間：240円（現行：230円）

○ 普通運賃(小児)

現行通り

○ 通勤定期

現行通り

○ 通学定期

現行通り

※PiTaPa 登録型割引サービスについても現行同様、営業キロ程毎の上限金額に変更はございません。

③ 改定率

普通旅客運賃（大人） 4.34%

④ 定期平均割引率

	現行	改定
通勤	30.0%	32.9%
通学	60.1%	61.8%

⑤ 改定・現行運賃比較表

別紙参照

2. 鉄軌道部門収支の実績および推定（鉄軌道部門収支）

（単位：千円）

項目	2023年度 （実績）	2024年度 （推定）	2025～2027年度（3年間合計）	
			現行	改定
収入	1,337,243	1,369,137	4,122,821	4,231,085
支出	1,449,215	1,458,366	4,519,596	4,519,596
差引損益	-111,972	-89,229	-396,775	-288,511
収支率	92.3%	93.9%	91.2%	93.6%

3. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

（単位：百万円）

	実績			予定			
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
安全対策	229	329	118	271	210	114	127
サービス改善	24	5	17	13	8	32	15
合計	253	334	135	284	218	146	142

(2) 主要プロジェクトの内容

① 軌道更新工事

【概要】 レール、分岐器、PCマクラギ化等の更新

【目的・効果】 老朽化しているレール等の更新を行い、安全性を向上させるとともに電車の揺れを解消し、利用者の快適性を高めます。

【投資額】 550 百万円

②車両延命及び大規模工事

【概要】主要装置の更新工事及び内外装修繕、最新機器搭載工事（4両）

【目的・効果】老朽化している主制御装置、補助電源装置、運転状況記録装置等の更新及び製造30年以上経過し劣化した内外装を修繕、最新機器搭載改修工事を行い、省エネ化、車両故障等のリスクを回避するとともに安全性を向上させます。

【投資額】650百万円

③簡易改札機(運賃箱)及び関連機器の更新工事

【概要】簡易改札機(運賃箱)及び関連機器の更新

【目的・効果】老朽化している簡易改札機(運賃箱)等の更新工事を行い、故障等のリスクを回避するとともにICカードを快適にご利用いただきます。

【投資額】200百万円

④南海本線(堺市)連続立体交差事業に伴う移設工事

【概要】南海本線の高架化工事に伴う阪堺線の移設

【目的・効果】連立事業と阪堺線(船尾～浜寺駅前間)の移設を一体的に進めることにより南海本線と阪堺線の乗継利便性を高め、交通結節点の機能向上を図ります。

【投資額】未定

4. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

これまで、軌道輸送の安全性や安定性を健全に維持向上することを前提とし、公共交通機関として社会的要請に応えながら、より良いサービスの提供を継続していくため、外注費の見直し等の費用の削減に努めてまいりました。

今後も費用の削減に努め、効率的な運営を行ってまいります。

5. 利用者サービスの向上策

(1) 阪堺電車トリップチケット

デジタル式の乗車券で、任意の1日が上町線・阪堺線ともに乗り放題となる割引きっぷ。TAKE TAKE(てくてく)きっぷより安価で、乗車券の提示で店舗の割引が受けられる特典付きの乗車券。

(2) 超低床式車両の導入(LRV)

将来の高齢化社会に対応するべく2013(H25)年度より順次導入を開始、2019(H31)年度までに4編成を導入し、乗降時の快適性向上に努めております。

(3) 電車走行位置情報サービスの提供開始

電車の走行位置情報や運行車両の情報(乗降口の段差)、時刻表などを、スマートフォンで便利に確認でき、利便性の向上に努めております。

(4) 乗り案内板の設置

観光で大阪にお越しになるお客さまが年々増加傾向にあるため、壁面のある全停留場に日本語版および多言語版を設置し、初めて当社をご利用いただくお客さま並びに外国人のお客さまに、安心して乗車できるよう努めています。

(5)乗継利便性の向上

南海本線（堺市）連続立体交差事業に伴う移設工事（連立事業）について、連立事業と阪堺線（船尾－浜寺駅前間）の移設を一体的に進めることにより、南海本線と阪堺線の乗継利便性を高め、交通結節点の機能向上を図って参ります。

6. 問い合わせ先

阪堺電気軌道株式会社 業務部営業課

TEL：06-6671-3080（平日：9時～17時50分）

以上

別紙

運賃比較表

1. 普通旅客運賃

現行	改定後	〈参考〉上限運賃
全線230円均一	全線240円均一	全線250円均一

2. 定期旅客運賃（大人・1ヶ月）

営業キロ程	現行	改定後	〈参考〉上限運賃
1 ～ 14km	9,660円 (均一制)	9,660円 (均一制)	9,660円

3. 通学定期旅客運賃（大人・1ヶ月）

営業キロ程	現行	改定後	〈参考〉上限運賃
1 ～ 14km	5,500円 (均一制)	5,500円 (均一制)	5,500円

4. PiTaPa 阪堺利用額割引(大人)

現行		改定後	
1ヵ月間のご利用額	割引計算方法	1ヵ月間のご利用額	割引計算方法
0円～2,000円	割引はありません。	0円～2,000円	割引はありません。
2,001円～2,200円	一律2,000円	2,001円～2,400円	(ご利用額－2,000円) ×0.4＋2,000円
2,201円～2,400円	(ご利用額－2,200円) ×0.8＋2,000円		
2,401円～	ご利用額×0.9	2,401円～	ご利用額×0.9

※銭未満の端数は切り捨て